

「松山港におけるクルーズ船の寄港促進に向けた課題と対応」に係るフォローアップ

目次

・課題1	：	効果的な誘致活動	2
・課題2	：	クルーズ船の効果的な受入体制	3
・課題3	：	クルーズ船旅行客に対する観光情報サービスの適切な提供	4
・課題4	：	CIQ手続き時の旅客負荷	5
・課題5	：	国際埠頭施設への大型バス等受け入れのための対応	8
・課題6	：	港湾貨物とクルーズ船との競合	11
・課題7	：	クルーズ船の大型化に対する港湾施設の対応	12
・課題8	：	クルーズ船受入に対する航行安全性の確認	14

課題1: 効果的な誘致活動

対応

短期:・商談会への積極的な参加。←愛媛県・松山市

・地元のクルーズ船への関心を高めるために、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。←愛媛県・松山市

中長期:・松山の魅力を活かすとともに、しまなみ海道のサイクリングツアーなど、周辺の観光資源と連携したクルーズプラン等の提案などによる誘致活動を実施。←愛媛県・松山市

・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。←愛媛県・松山市

【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】

例) 地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。

対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

短期:・平成30年度当初予算で、松山市におけるクルーズ船の誘致やおもてなしの充実に向けた取組みに対する支援や、県が行うプロモーション実施(商談会等参加、外国船社招聘)に係る予算を措置(愛媛県)

・平成30年度当初予算で、商談会参加やクルーズプランの提案等に係る経費を措置(松山市)

・ダイヤモンド・プリンセス2019年新規寄港決定に係る知事記者会見(H29.12.20)(愛媛県)

・知事とカーニバル・ジャパン社長が面会し、2019年松山港寄港決定のお礼及び更なる寄港を要請(H29.12.27)(愛媛県)

・中国地方整備局主催の「第4回瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会」(H30.2.8,9)商談会参加(愛媛県・松山市)

・松山港を寄港地とするクルーズプランの提案(四国地方整備局)



今後の対応予定

短期:・関係者が連携し、プロモーション等を実施予定。(愛媛県・松山市)

・松山市周辺エリアを含むオプショナルツアーの実施に向け、当該ツアーを担当する旅行会社等に対して、県と県観光物産協会(愛媛DMO※)等が連携し、クルーズプラン等の提案を行う予定(愛媛県・松山市) (※)DMO(Destination Management Organization)とは、観光地域づくりを実現するための戦略を策定し、着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。

・平成30年度に、商談会への参加やクルーズプランの提案等を実施(松山市)

・「四国における瀬戸内海クルーズ振興に向けた提言書」を英訳し、四国地方整備局のHPに掲載する。(四国地方整備局)

中長期:同上(愛媛県・松山市)

クルーズプラン等の提案や国内外の船社、旅行代理店を通じたPRを実施(松山市)

課題2:クルーズ船の効果的な受入体制

対応

短期:・クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。← 地元関係者

【受け入れサービスの充実例】

例)最寄り駅までのシャトルバスの運行。

例)各観光箇所と一般来場者用に必要となる駐車場を事前確保。

例)大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。

例)路面電車・JR等の一日乗車券、埠頭内での外貨両替を実施。

中長期:【受け入れサービスの充実例】

例)オプションバスツアーの市街地周遊により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。

例)「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。

対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

短期:・平成30年度当初予算で、松山市におけるクルーズ船の誘致やおもてなしの充実に向けた取組みに対する支援や、県が行うプロモーション実施(商談会等参加、外国船社招聘)に係る予算を措置(愛媛県)

・クルーズ船の受入における課題への対策等を協議するため、松山港クルーズ振興会を3月14日に開催した。目的は、①クルーズ船の受入について市内の観光・商工、交通、港湾及び行政の各関係機関において情報共有し、課題への対策を協議する。②クルーズ船寄港地としての好感度を高め、寄港の増加、定着につなげる。③共有した情報をそれぞれの立場で活用し、地域経済の活性化につなげる。

構成は、官民の関係機関(松山商工会議所、(一社)愛媛県観光物産協会、(一社)愛媛県バス協会、愛媛県旅客船協会等)からなり、2019年のダイヤモンド・プリンセス寄港時における受入体制が万全となるよう各機関が自らの役割を担う。(愛媛県・松山市)

中長期:同上

今後の対応予定

短期:・クルーズ船の受入やおもてなしの充実に向け、愛媛県と松山市が連携し、Wi-Fi環境の整備や郷土色あふれる歓迎イベント、愛媛DMOと連携した魅力的なオプションツアーの提案などを実施予定。(愛媛県・松山市)

・上記検討会を通じて、各関係機関との情報共有を図るとともに、具体の課題と対応を協議し、2019年のダイヤモンド・プリンセス寄港時における受入体制が万全となるよう努める。(愛媛県・松山市)

・上記に先立ち、平成30年度に寄港予定のクルーズ船(現時点で、カレドニアンスカイ、ぱしふいっく・びーなす、各々1回寄港予定)に対して、受入サービスの一部を先行的に実施し、PDCAを通してサービスの充実にも努める予定。(地元関係者)

中長期:・ダイヤモンド・プリンセスの寄港時における受入体制の課題を抽出し、一層の充実等に取り組む。

課題3:クルーズ船旅行客に対する観光情報サービスの適切な提供

対応

- 短期:**・クルーズ船着岸が想定されている岸壁においては、モバイル型Wi-Fi機器の準備等必要な対応を図る。【松山港外港地区岸壁(-10m)】←愛媛県・松山市
- ・主要駅、バス停、集客施設等を中心に周辺観光案内の多言語表記の標識を設置する。←愛媛県・松山市
- 【円滑なコミュニケーション促進例】
- 例) タクシー車内での英語の「指差しシート」の配布、多言語表記の観光マップの作成・配布。
 - 例) 飲食店のメニュー多言語化支援
 - 例) 情報端末機器を活用した着地情報の発信

対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

- 短期:**・平成30年度当初予算で、松山市におけるクルーズ船の誘致やおもてなしの充実に向けた取組みに対する支援や、県が行うプロモーション実施(商談会等参加、外国船社招聘)に係る予算を措置(愛媛県)
- ・クルーズ船が寄港する際は岸壁で使用するキャリアバックWi-Fiを準備し、対応予定。(松山市)
- なお、市内中央商店街では、多言語対応したガイドブックや大型タッチパネルを作成しており、商店や観光施設の案内を行っている。
松山城、道後温泉でもQRコードやパンフレットの観光情報多言語化について対応済み。各観光案内所に多言語対応スタッフを配置している(松山市)

今後の対応予定

- 短期:**・愛媛県と松山市が連携し、クルーズ船の誘致やおもてなしの充実に向けてWi-Fi環境の整備、郷土色あふれる歓迎イベント、愛媛DMOと連携した魅力的なオプションツアーの提案等を実施予定。(愛媛県・松山市)
- ・松山港クルーズ振興会(仮称)を通じて、各関係機関との情報共有を図るとともに、具体の課題と対応を協議し、2019年のダイヤモンド・プリンセス寄港時における受入体制が万全となるよう努める。(愛媛県・松山市)
 - ・クルーズ客や乗務員の声を踏まえ需要に見合った岸壁部で使用するWi-Fi機器について検討し、必要な対応を図る。(松山市)

課題4: CIQ手続き時の旅客負荷

対応

短期:・クルーズ船寄港の際は、港湾管理者(愛媛県)においてCIQ手続きを行うための仮設テント等の用意等必要な対応を図る。←愛媛県

対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

短期:平成30年度のクルーズ船寄港時におけるCIQ手続は、仮設テントをリースすることにより対応(愛媛県)

今後の対応予定

短期:クルーズ船の寄港回数等の状況により、仮設テント等の対応(購入またはリース等)について検討(愛媛県)

(参考) 港におけるCIQ手続き時の旅客負荷

【クルーズ船入港時の状況】

松山港外港地区岸壁(-10m)は、旅客ターミナル等の施設がないため、CIQ手続きを屋外で実施せざるを得ず、旅客への利便性が損なわれている。

【船外でのCIQ手続きの一例】

船外の埠頭に税関業務を行うために設置されたテント



船外の埠頭に税関業務を行うために設置されたテント
(2016.6.29高知港 クァンタムオブザサイズ)

手荷物検査



(参考) 国際クルーズ旅客受入機能高度化事業

○訪日クルーズ旅客数500万人の実現に向けて、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上及び物流機能の効率化を図るために実施する事業を促進することにより、クルーズ旅客の受入機能の高度化及び物流の効率化を図る。

事業概要

■補助対象経費

- ・クルーズ旅客の移動又は手荷物等の搬出入の円滑化に要する経費
- ・クルーズ旅客が利用する旅客上屋等の受入環境改善に要する経費
- ・クルーズ旅客の安全性の向上に要する経費 等

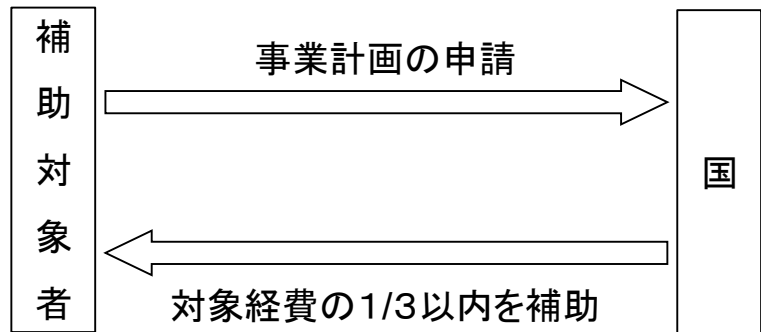
■補助対象者

地方公共団体(港務局を含む。)又は民間事業者

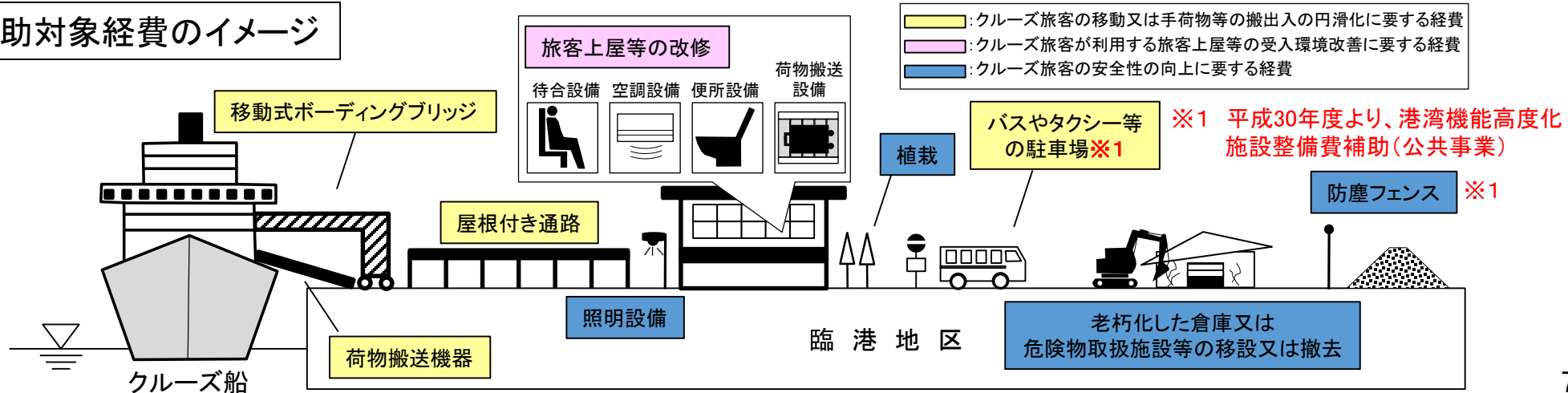
■平成29年度採択状況

徳島小松島港及び高知港
屋根付き通路、照明設備、駐車場整備、防塵フェンス 等

■事業スキーム



補助対象経費のイメージ



課題5: 国際埠頭施設への大型バス等受け入れのための対応

対応

短期: ・外航クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、港湾管理者が四国地方整備局と協議し、「埠頭保安規程」を変更するなどにより、仮設フェンスの用意等必要な安全措置を講ずる。
←愛媛県・四国地方整備局

対応の取組状況・到達点（平成30年（2018年）3月時点）

短期: ・松山港外港地区第1埠頭2号岸壁における埠頭保安規程（イベント利用時の保安対策手順書）に基づき、調整が必要な事項（申請者の特定等）について、平成30年度上半期内に対応予定（愛媛県）
・臨港道路や埠頭用地内道路などの一部補修が必要な箇所について、平成30年度中に舗装補修を実施予定（愛媛県）
・臨港道路交差点付近に、平成30年度中にクルーズ船寄港岸壁の案内看板を設置予定（愛媛県）

今後の対応予定

短期: 埠頭保安規程の変更に伴い、必要な仮設フェンスのリース等手法について検討（愛媛県）

(参考) 国際埠頭施設への大型バス等受け入れのための対応

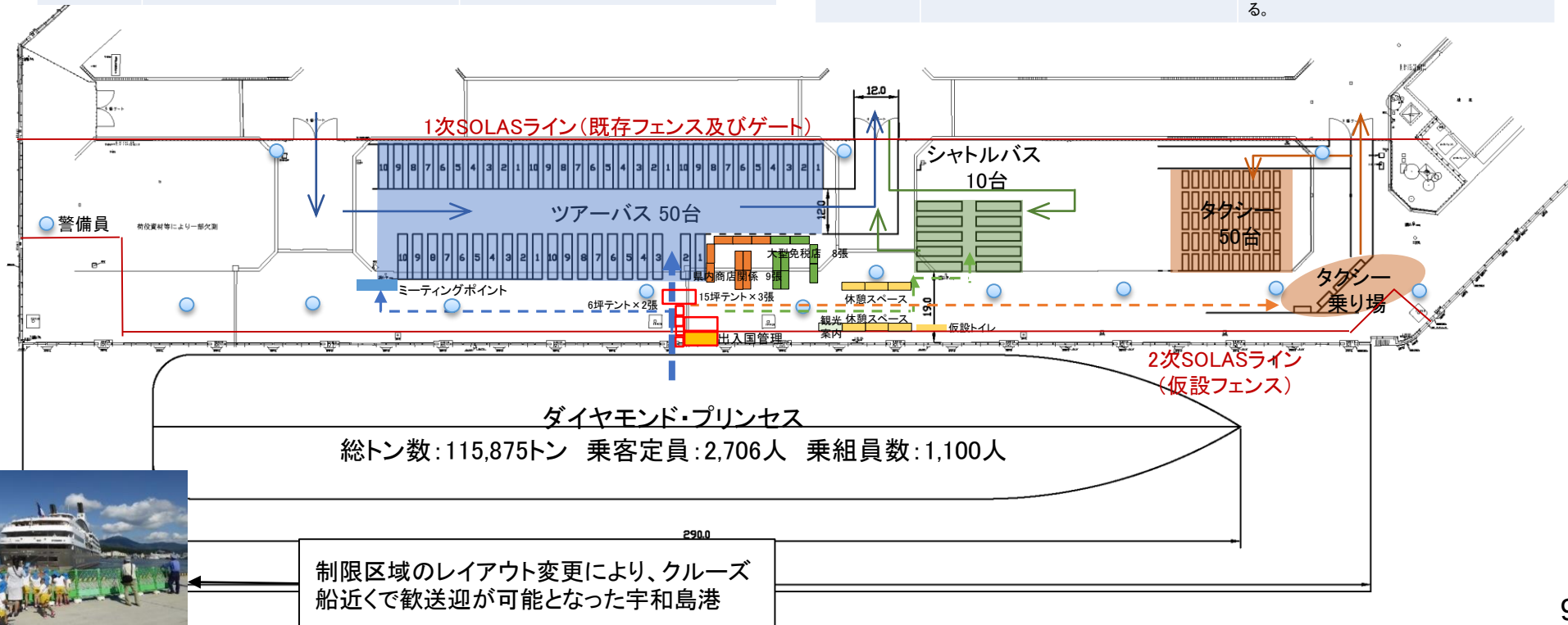
【ソーラス施設での対応】

松山港外港地区岸壁(-10m)は、国際船舶・港湾保安法に基づく保安対策のため、立ち入り制限区域を設けている。
クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、制限区域のレイアウト変更の調整が必要。

【松山港での対応イメージ】

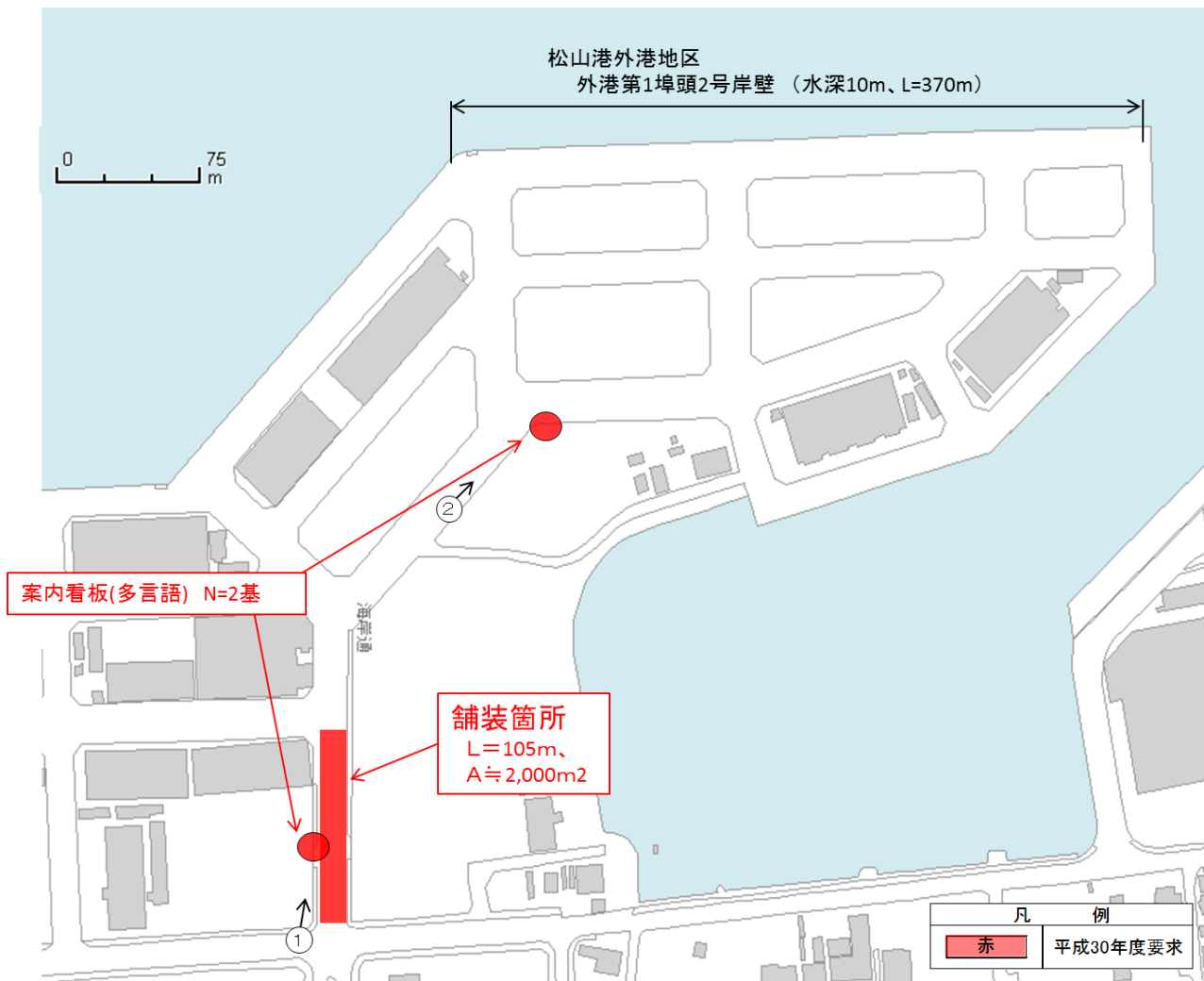
項目	設定根拠	松山港における設定
仮設テント	- 仮設テントが必要な主な機能としては、物販、観光案内、利用者休憩所である。 - 八代港の事例(乗客及び乗組員計6,328人) - 物販: 30張 (1人あたり0.0047張) - 休憩: 10張 (1人あたり0.0015張) - 観光案内所: 1張	- 乗客・乗組員計3,806人の乗客の設定のため、物販および休憩スペースは八代港の1人あたりのテント数をもとに、物販$3806 \times 0.0047 \div 17$張 - 休憩$3806 \times 0.0015 \div 6$張を設定。 - 観光案内所として1張を設定
仮設トイレ	クルーズ船の入港がした際の乗客・乗組員1人あたりのトイレの基数は、0.0013基～0.0019基。1人あたり0.0014基を設置した事例でトイレの混雑はなかったとの報告あり	- 乗客・乗組員計3,806人に対して、1人あたり0.0014基とすると$3806 \times 0.0014 = 5.3$基となる。 - 松山港では、男性2基、女性2基、身障者用1基の計5基、手洗い場2基を設定。

項目	設定根拠	松山港における設定
ツアーバス台数	・台湾旅行会社へのヒアリングより、台湾人乗船客のエクスカージョンツアーの参加率はおよそ7割。	・乗船客2,706人の7割の1894人がツアーに参加すると想定。バス1台あたり乗客を38人と設定。 $1894/38 = 50$ 台
シャトルバス台数	・ヒアリングよりエクスカージョンツアーに参加しない人(3割)のうち、約6割の人が外出する。 ・下船開始から、船を外出する人が外出し終わるまでおよそ1時間。 ・松山市街まで片道25分、往復50分	・右の設定根拠より、想定に船から外出する乗客および乗組員は下記の通り。 乗船客: $2706 \times 0.3 = 811$ $811 \times 0.6 = 487$ ・40人乗りのシャトルバス10台で400人を輸送。残り87人はタクシー移動と設定
タクシー台数	・タクシー1台あたり2人の乗船客が乗車すると設定。	・上記よりタクシー移動者は87人。1台あたり2人乗車するという設定で43.5台。1人で乗車する人や乗組員の利用も見込んで50台と設定する。



(参考)松山港大型クルーズ船受入れに係る環境整備

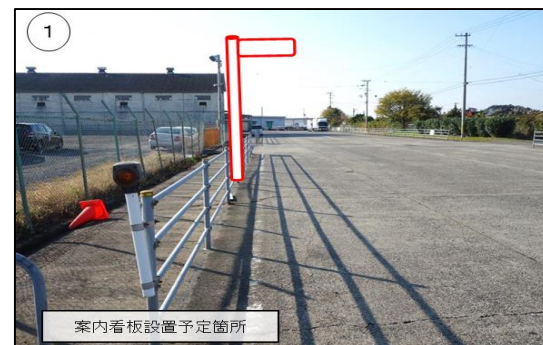
- 大型クルーズ船寄港時に、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、臨港道路交差点付近に、平成30年度中にクルーズ船寄港岸壁の案内看板を設置予定（愛媛県）
- 大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、臨港道路や埠頭用地内道路などで舗装が傷んでいる箇所について、平成30年度中に舗装補修を実施予定（愛媛県）



●案内看板レイアウト(案)



※レイアウト図は現時点の想定のため、
今後詳細を検討



課題6: 港湾貨物とクルーズ船との競合

対応

短期:・クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者(船社・荷主・港運関係者等)に情報提供するとともに、クルーズ船寄港日を決定するための日程調整を行う。←愛媛県

対応の取組状況・到達点(平成30年(2018年)3月時点)

短期:・クルーズ船の受入に係る関係機関が多く、これまでの受入実績も乏しいことから、円滑に利用者調整等を図るため、平成30年度上半期までに、クルーズ船寄港に係る関係機関調整のための手続きフローを作成予定。(愛媛県)

今後の対応予定

短期:・平成30年度に寄港するクルーズ船に対し、上記手続きフローに基づき、利用者調整を試行し、実効性について検証・改善を行い、平成31年度寄港時の円滑な体制を確立予定。(愛媛県)

課題7:クルーズ船の大型化に対する港湾施設の対応

対応

短期:・大型のクルーズ船(10万トン以上)を受け入れられるよう、必要となる係船柱・防舷材の改良および泊地浚渫について、関係機関が協力して2018年内に整備する。←愛媛県・松山市・四国地方整備局

対応の取組状況・到達点 (平成30年(2018年)3月時点)

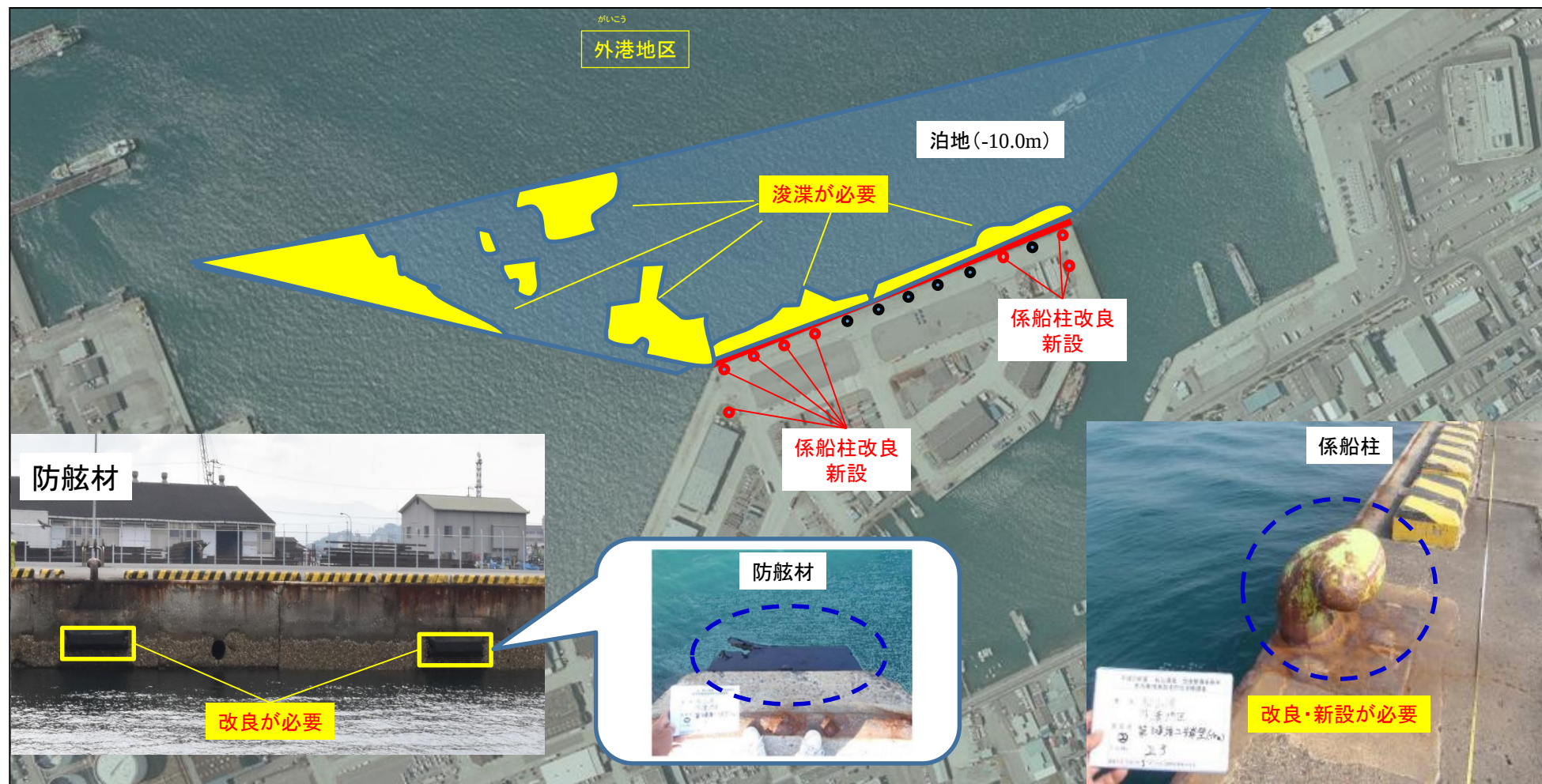
短期:・改良する係船柱の規格と配置についてクルーズ船社、岸壁利用者と調整済。(四国地方整備局)
・直轄工事で係船柱・防舷材の改良及び泊地浚渫を平成30年内に実施予定。(四国地方整備局・愛媛県・松山市)
・併せて、県が背後の埠頭用地内道路及び臨港道路における舗装修繕や、クルーズ寄港岸壁案内板(見学者等対応)を設置予定。(愛媛県)(再掲)

今後の対応予定

短期:・平成30年末までに工事を完了する。(四国地方整備局)

(参考)クルーズ船の大型化に対する港湾施設の対応(整備概要)

松山港外港地区岸壁(-10m)において、10万トン以上の大型のクルーズ船を受け入れるために実施する係船柱・防舷材の改良及び泊地浚渫



課題8:クルーズ船受入に対する航行安全性の確認

対応

短期:・入港する船舶の船型が明らかになり次第、必要に応じ、航行安全性を確認し、必要な措置を講ずる。
←愛媛県・四国地方整備局

対応の取組状況・到達点（平成30年（2018年）3月時点）

短期:・平成30年度内にダイヤモンド・プリンセスを超える今後誘致の可能性が高い大型船舶に対する航行安全対策検討委員会を実施予定（愛媛県）」

今後の対応予定

短期:・平成30年度内にダイヤモンド・プリンセスを超える今後誘致の可能性が高い大型船舶に対する航行安全対策検討委員会を終了する（愛媛県）

(参考)クルーズ船受入に対する航行安全性の確認

【航行安全性上の技術的な確認】

クルーズ船が安全に入出港できるよう、泊地や岸壁延長等の施設規模や船舶操縦性等、航行安全上の技術的な確認をするとともに、利用者との調整を図る必要がある。

入港出来る船舶は最大延長330m程度



航行安全検討項目(例)

	項 目
利用施設寸法と入港 予定船舶寸法の確認	水深
	岸壁延長340m
	水域(泊地2L確保)
付帯施設確認(1)	接岸時の係船柱・防舷材の耐力
付帯施設確認(2)	停泊時の係船柱・防舷材の耐力
入出港経路(航路～ 泊地(回頭)～離接 岸)の安全対策確認	入出港時の設定経路での旋回、 泊地での回頭、離接岸時に必要な 船舶機動性能などの確認
暴風時等の避難計画	係留限界風速等の設定
周辺利用者との調整	入出港時の周辺・航路利用調整等